

科目名	国際文化演習Ⅱ A				
英語科目		ナンバリング	(https://syllabus.kyoto-su.ac.jp/syllabus_search/#n) を参照		
開講期	春学期	開講学部等	文化学部	配当年次	4 年次
教員名	藤高 和輝			単位数	2 単位

授業概要／Course outline

私たちは、「男は男らしく」「女は女らしく」、「異性愛が自然で当たり前」といった見方が「常識」「当たり前」「普通」とされる社会を生きています。しかし、そのような見方は本当に「当たり前」のでしょうか。この演習では、そのようなジェンダー規範や異性愛規範を批判的に考える力を養うことを目標とします。「ジェンダー／セクシュアリティ」に関する基本的な文献を読み、議論を交わすことを通して、基本的な知識を学び、批判的思考力を身につけてもらいたいと思います。

卒業研究論文の作成に向けて、これまでの集大成をまとめます。

授業形態、授業方法等／Course form・type

【授業形態】

対面授業

【授業方法】

演習

・アクティブ・ラーニング授業（形態：ディスカッション、ディベート／プレゼンテーション）

第2回から第14回にかけて、授業で扱った文献についての発表やディスカッションを行う。それによって、プレゼンテーション能力や、ディスカッションを行う上で必要な傾聴力や発信力なども育む。

・ICTを活用した授業（形態：遠隔教育（ビデオ・オン・デマンド等））

オンデマンド動画による授業がある。

授業内容・授業計画／Course description・plan

第1回：春期休暇成果報告会①

第2回：春期休暇成果報告会②

第3回：卒業研究論文指導①

第4回：卒業研究論文指導②

第5回：卒業研究論文中間発表

第6回：卒業研究論文中間発表

第7回：卒業研究論文中間発表

第8回：卒業研究論文中間発表

第9回：文献講読

★オンデマンド：これまでのまとめと今後の展望

第10回：文献講読

第11回：文献講読

第12回：文献講読

第13回：文献講読

第14回：研究計画書の提出&フィードバック

事前・事後学修／Preparation and assignments

※事前学習は各授業2時間、事後学習も各授業2時間必要です。下記の内容を確認して、しっかりと事前・事後学修を行うようにしてください。

【事前学習】

第1回：第5～8回に卒業研究論文に向けた中間発表を行いますので、可能な限り早い段階で準備を進めておいてください。

第2回：同上

第3回：同上

第4回：同上

第5回：同上

第6回：同上

第7回：同上

第8回：同上

第9回：第9回から第14回にかけては、読書会形式の演習になります。必ず、指定された文献を全員読んでください。発表者はレジュメを作成してください。文献内容を分かりやすく要約するとともに、理解が難しかった

た点や自分が感じた疑問点、あるいはその文献に対する批判点など、自分の考えを書き出すことも重要です。

★オンデマンド：同上

第10回：同上

第11回：同上

第12回：同上

第13回：同上

第14回：第14回に提出する研究計画書では、中間発表において明らかになった課題を解決するために具体的な研究方針を書くように心がけてください。

【事後学習】

第1回 ゼミの内容をまとめたり、紹介された文献などを調べてみてください。

第2回 ゼミの内容をまとめたり、紹介された文献などを調べてみてください。

第3回 ゼミの内容をまとめたり、紹介された文献などを調べてみてください。

第4回 ゼミの内容をまとめたり、紹介された文献などを調べてみてください。

第5回 ゼミの内容をまとめたり、紹介された文献などを調べてみてください。

第6回 ゼミの内容をまとめたり、紹介された文献などを調べてみてください。

第7回 ゼミの内容をまとめたり、紹介された文献などを調べてみてください。

第8回 ゼミの内容をまとめたり、紹介された文献などを調べてみてください。

第9回 ゼミの内容をまとめたり、紹介された文献などを調べてみてください。

★オンデマンド ゼミの内容をまとめたり、紹介された文献などを調べてみてください。

第10回 ゼミの内容をまとめたり、紹介された文献などを調べてみてください。

第11回 ゼミの内容をまとめたり、紹介された文献などを調べてみてください。

第12回 ゼミの内容をまとめたり、紹介された文献などを調べてみてください。

第13回 ゼミの内容をまとめたり、紹介された文献などを調べてみてください。

第14回 ゼミの内容をまとめたり、紹介された文献などを調べてみてください。

授業の到達目標／Expected outcome

ジェンダー／セクシュアリティに関する基礎的な知識を学ぶとともに、社会を批判的に読み解く力を養ってもらいたいと考えています。また、レジュメの作成や発表、ディスカッション等を通して、情報をまとめる能力や、自分の考えを発信する能力を身につけることを目指します。学期の最後に提出してもらうレポート作成では、基本的なアカデミック・スキルを習得することを目指します。

身につく資質・能力／Competencies to be attained

- | | |
|------|---------------|
| ・主体性 | 専門知識・専門技能 |
| ・発信力 | 【文化学部 国際文化学科】 |
| | ・人文学に関する知識 |
| | ・地域文化に関する知識 |

履修上の注意／Special notes, cautions

演習では参加度や積極性が大きく評価されますので、欠席には注意してください。

評価方法／Evaluation

平常点（口頭発表の内容、ディスカッションへの参加状況）70%、学期末に提出するレポートを30%とします。

教 材／Text and materials

教科書は使いません。使用するテキストはプリントして配布します。

質問や相談の方法／Instructor contact

藤高（kazukin@cc.kyoto-su.ac.jp）までご連絡ください。

その他／Others

個別の相談は随時受け付けます。